

第45回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成27年11月27日（金）19:00～20:30

場 所：KKR ホテル博多 2階 シリウス

〒810-0022 福岡市中央区薬院4-21-1

参加費：1,000円 募集定員：150名 Field[※]：D

※ Field A：排尿管理 / Field B：排便管理 / Field C：感染対策 / Field D：その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：在宅支援

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

講演：『「地域包括ケア」について』

講師：鹿野 由紀 先生（福岡市役所高齢社会部地域包括ケア推進課
地域包括ケア推進係長）

日本は、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しています。福岡市の高齢化率は現在約20%ですが、10年後の2025年に39万6千人で約25%と予想されています。なかでも伸びが大きいのは、後期高齢者人口（75歳以上）で22万8千人と予想され、今後、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。そのため、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケア」の実現に向けた取組を進めています。福岡市の取組についてお話しします。

講演：『地域包括ケアでの訪問看護師・ケアマネジャーの役割を考える』

講師：鈴山 京子 先生（福岡市医師会 訪問看護ステーション中部・
ケアプランセンター中部 統括管理者）

福岡市では、今年度より地域包括ケアシステムの構築に向けての取り組みが本格始動しています。中央区では、6月に第1回圏域連携会議が開催され、参加しました。地域ケア会議は、地域関係者を含めた多職種による検討を通じて高齢者に対する適切な支援の充実を図るとともに、個別ケースの課題分析等を通じて地域課題を見出し、地域に必要な資源開発や地域づくり、さらに必要に応じて政策下の検討につなげることを目指すのですが、その中で訪問看護ステーション、ケアプランセンターのはたす役割について今感じていること、考えていることを、事例を交えお伝えしたいと思います。

閉会の挨拶：武井 実根雄 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、久光製薬株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812